

平成 20 年度 活動成果報告書

- 心そだち場楽習隊塾 -



楽習の証

たいせつなのは、

とれだけたくさんのごことを

したかではなく、

とれだけ

心をこめたかです。

マザーテレサ

播磨ゆめづくり塾

心そだち場楽習隊塾



平成二十一年三月三十一日

活動を振り返って

播磨ゆめづくり塾に「心そだち場樂習隊塾として参加して三年が過ぎました。18年度、19年度は、播磨町子育て学習センターを学びと癒しの場、拠とされていまして多くの親子（80組）の不安や残念さを幾らかでも補う為に、塾生の方々はご自分のスキルを活かして、参加される親子にふれあい「愛」を伝えて下さいました。そして皆様はたくさんの感謝の言葉を残され保育園、幼稚園へと進まれました。町内でお出会いしました時には、いつも元気のよいお声をかけて下さり、その姿から“子どもたちも幸せに育っている”と確信しています。

20年度は、18年度生まれのベビーちゃんと一年生ママの“コアラ抱っこグループ”（15組）が存在感を発揮、可愛いから言葉で、15人15色の発達を楽しませてくれました。9人の子どもたちがお兄ちゃんお姉ちゃんとなり、ママのおひざの取り合いが始まりました。困惑気味のママ、さあ...「愛」の伝え方に工夫が要ります。

ゆめつうしんの発行は、18年度より「抱かれる子どもはよい子に育つ」医学博士 石田勝正著から要約抜粋して伝えて来ました。

20年度は、播磨町の乳児健診、保育園、幼稚園校医をされている小児専門医の黒田英造先生、米山温子先生にお願いして、子どもの健全育成への家庭環境づくり等のメッセージをいただきました。病気の時しかお話出来ない先生方の他方向からの子育て応援歌は、子育て中のご家庭だけでなく子どもの育ちに係る全ての方々に愛読者になっていただきたいです。

東播磨地域でも20年4月より小児科医の深夜診療が、中止となったのを受けて小児専門医が救急医療のかかり方など、本当に緊急に必要な時の様子を見て地域のかかりつけ医を受診するなど、急病時の対応対処を各地で説明されました。

等塾では、その資料から急病時の家庭での対処法を一部分ずつですが、活用していただく為に、又子育てフォーラムの講師をしていただく小児科医土屋邦子先生の著書「赤い聴診器」病気なんかには負けないぞ！の中からその時に合った内容のエッセイをいただき掲載しています。

各号の印刷数は、保育園、幼稚園、乳幼児健診時、各子育て支援グループ等で、3500枚です。乳幼児は、健診時だけになります。なんとか毎回読んでいただける様な活動が必要なのですが

以上の主な活動の外、行政のお手伝い、他の団体とふれあう行事など、幼い子どもたちの参加出来る催しに色を添えました。塾生の皆様には、仕事、介護、子育て諸活動と多忙な中ご協力をいただき感謝しています。これからも私たちの塾でしか出来ない活動、愛をどう伝えるのか、学びながらの実行です。まず自身のまわりから、愛の運び手となって温かい地域社会をめざしたいです。ありがとうございました。

遺跡がとりもつ嬉しい思い出

昨年の夏以来、加齢による筋肉の衰えと言われ、脚に腕に痛みがあり塾生の方々にも色々ご迷惑をおかけし申し訳なく思っています。一年をふり返って何か感じたことを書くようにと言って下さったので、遺跡まつりに関連して嬉しい思い出を書くことにしました。

当日のお手伝いは、行列に参加する親子の着替えた服や、その他の物の番をするという私にとっては有難い仕事を考えて与えて下さったと思うのですが、緑色の貫頭衣を身につけ嬉々としてはしゃぐ幼子達を見ていると、弥生時代をこの地で生き、このようにたくましく元気に生きたであろう子ども達と重なって、色々な思い空想が頭の中で巡り何とも穏やかな気持ちになりました。そしてふと遺跡がとりもってくれた一人の嬉しい交流のあった事を思い出したのです。それは一昨年、田辺聖子さんの推薦される福地溪谷に友人達と出掛けた時の事、丁度紅葉の季節でもあり時間にゆとりもあったので、溪谷美を楽しみがてら、宿で頂いた観光案内を見ながらの途中、遺跡公園とあるのを見つけ大中の事が頭にあってただけにそちらに足を運びました。差し出された名簿に記帳しかけた時、「エ - あんた方、播磨町の方」「私、この間行ってきたばかりや。立派なもんが完成したねえ」キョトンとしている私達に向かって「私なあ、あそこの発掘に行ってたんや。家の者からは、学校休まんで行けと叱られるけど、色々面白うて、発掘休みの時だけ学校に行ってたんや」話はとめどもありません。要するにそんな縁でご招待を受け行かれたのでしょうか。そして嬉しい事に、あの時の古代人の行列を特に緑色の貫頭衣をまっとうった子ども達のことを「あれ本当によかった。愛らしかったなあ」私は、あれはきっと塾長さんたちの発案だろうと思って、思いっきり丁寧にお礼を言いました。その後発掘された土器、復元された模型の住居等丁寧に説明して下さいました。最後の方に「私はここで役所に入り、今はここの館長をさせてもらっている。」まあなんて仕合せな方だろう。好きな事を仕事として生きていられる。仲間と共に「羨ましいですね。お元気な限りお仕事続けて下さい」の思いでお別れしました。紅葉と溪谷美あての旅が私にとっては、素晴らしい方とお会い出来た嬉しい旅になりました。

少し長くなりましたが、私は、今楽々クラブに入り、転倒したり、寝たきりにならぬよう気をつけてこれからも自分に出来る範囲の事をしたいと思っています。



美代子先生は、お孫さん方と米寿のお祝いをされると言われていました。

先生は、20年近くボランティアとして支えて下さり、私たちの「地域の子育てに寄り添う会」の会長としてご指導をいただき、活動費についても助けて下さっています。後に続く者として感謝しながら見做って行きたいと思っています。ありがとうございます。

塾長

子育ての輪

夢づくり塾3年目を迎え、次々子どもたちが成長して行き、今年は「コアラだっこG」が中心の活動となりました。次の出産を迎えられたり、新しい方が参加されたり、ほほえましい事が続きます。今年の活動の一つは医療への関心に向けられ、医師会が中心になった急病対応の仕方をPRしたり、土屋邦子小児科医を囲んで、病気の対応を話し合ったり、“心そだち場楽習隊つうしん”では、町内二小児科医の貴重なメッセージを頂いています。

この頃の若いお母さん方は育児経験も少なく、周りからの温かい助言も少ないので、子育てに寄り添い、共に成長していくこの塾はとてもありがたいと思います。私事ですが、内孫達と息子の嫁といっしょに参加できるのも喜びです。メンバーの魅力あふれる方々にお会いできるので、「この輪がずっと広がっていけばいいな」と思っています。

小児科医 土屋邦子先生のご講演（子育てフォーラム）のご報告をします。

子どもにとって一番の主治医は保護者です。子どもを育てるためなら何も怖いものが無い、母親の自信に感動します。子どもの様子が心配な時

いつも通りに機嫌が良いか

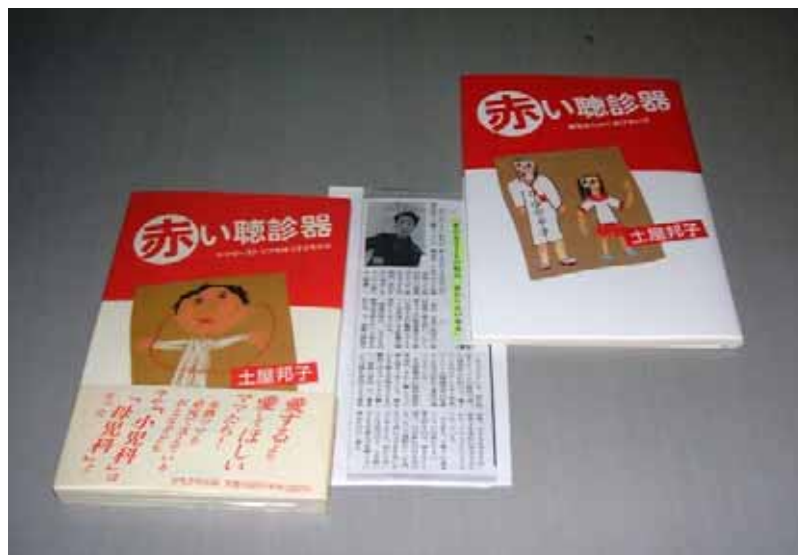
よく食べているか

おしっこが出るか

おもちゃで遊んでいるかが目安です。

人間の自然治癒力を発揮させる為普段から栄養をとっておくことが大切です。早寝、早起き 朝ご飯、火を通した温かいものをバランスよく...三歳までは体を使って友達ともよく遊ばせます。六歳までは子どもは神の子、日々の細やかで丁寧な世話が子どもの一生の人格を「つくる」ので肩の力を抜いて、でも覚悟を持って子育てをしましょう。

土屋先生の確かな知識と親子へのあふれる愛情がどんどん伝わって来ました。目からうるこの一時間半でした。



私の仕事

大豆の加工：豆乳、豆腐類、湯葉製品、黒豆の飲料、黒豆の納豆

このような製品作りにおいて、私自身が心がけてきたことは、良質で美味しい食品を製造すること、美味しくて体に良い大豆加工品をお客様に提供することです。もちろん今も工夫を続けています。私は生涯、今の仕事を続けて生きたいと願っています。

製品作りの内容が少しずつ変わってきました。

約30年前、父から受け継いだときは、豆腐類だけを製造していました。父が亡くなり、母とパートタイマーの従業員二人で、木綿豆腐、絹豆腐、焼豆腐、うすあげ、厚揚げ、ひろうす、これだけの製品を手作業で作りました。すぐに、注文量が増えてきました。生産ラインを機械化して大量に生産しました。また、同時に湯葉製品の研究開発もはじめました。湯葉は三年ぐらい経ってから少しずつ売れてきました。美味しい湯葉を作るために、いろいろな原料大豆を探しました。水と大豆だけで作るの、水も良いと思われるセラミックの湯水装置を導入しました。更に加工方法もいろいろ工夫しました。やがて、お客様から「美味しい湯葉」ということで「進物用の湯葉」として利用してくださる方々が増えてきました。又、ホテル、日本料理、和風レストラン等でも、私共の湯葉を食材として使ってくださいるところが少しずつ出来てきました。さらに、美味しい湯葉をつくるために、原料の一部に高価な黒豆、丹波黒大豆をブレンドすることもはじめました。又、黒豆100%で湯葉を商品化することも始めました。普通の大豆製品でも体に良いことは皆さん方もよくご存知のことと思います。黒大豆は、更にもっと良いのです。漢方の文献によると「黒い大豆は薬」であるという表現が数ヶ所あります。健康と長寿を願ってお祝事の時、お正月のおせち料理には必ず黒豆が入っています。我々の祖先からの素晴らしい知恵だと思います。黒豆は健康を象徴する食材と位置づけしているのです。更に漢方の文献によると薬である黒豆の加工方法として「煮汁」がよいとされています。複数の文献で「煮汁」という加工方法が良いと記されています。すなわち「表皮の黒い成分」が体に良いのです。このようなことを学んで私は「丹波黒豆煮汁」という冷凍食品を商品化して販売しています。多くの方々に本当に喜ばれています。最近では多くの食品企業がまねをして缶詰で製品化しています。しかし冷凍食品が一番良いのです。このように黒豆の製品化の流れで黒豆の納豆も商品化しました。納豆は「世界が認めるスーパーサプリメント」と言われるほど健康に良いのです。

仕事を通して学ばせて頂いたこと。大豆の加工という仕事に取り組んでいるお陰で、いろいろな人との出会いがあります。小学校の栄養士さんの依頼で始まった小学生を対象にした豆腐作り、コミュニティセンターで一般の人々に豆腐作り、また大豆が体に良いというお話等、いろいろなかたちで地域社会の方々とのかわりをもってきました。

変わった取り組みでは、「地域教育委員会」という立場にあった時、小学校で「お弁当の日」という取り組みをスタートさせました。さらに「食事」「食べること」これは私たちの健康に直接つながります。お陰で健康管理の方法も年は取ってきましたが、上手になりました。その一つに「水」の大切さもすこしずつわかってきました。

私は自分で今の仕事を選び、また大切にしてきました。仕事（業務の内容）が大きく変わったこと、自分自身の健康管理の経験から「良いことを願い続ける」ことの大切さ、心の持ち方が私たちの将来を左右することも学ばせて頂きました。

松井氏の講演を聞いた高校生からの感想文です。

播磨南高校 N . K

私の将来

私にとって今回の講演で、聞いたことは興味深いものばかりでした。中でも新製品開発の過程での試行錯誤については、一番興味深く感じました。松井さんは以前（豆腐製造業を受け継いだ当所）は豆腐を中心にあげやがんもどきなどをスーパーに出荷されていたそうです。スーパーに出荷するための苦労話もありましたが、私が興味を持ったのは、その後、湯葉の販売に着手されてからのことです。最初はあまり馴染みのない湯葉は売れなかったそうです。しかし原料の豆、水にこだわり添加物を使わなくなったことで、徐々に売れ始め黒豆を使った湯葉も開発したそうです。「美味しいものには、見た目、味、安全、価格など様々な要素が必要で、そのための努力が大切である」とわかりました。

私の将来の目標は、体のことを気にせず満足いくまで食べられるスイーツを作ることです。その目標が、今日の講演ではっきりと具体化し、とても参考になったと思います。お忙しい中わざわざお越し下さった松井さんに改めて感謝したいです。



夢つうしん

私たちの塾では、2ヶ月に1回「心そだち場樂習隊つうしん」を発効しています。中央公民館、コミセン、福祉会館等公共施設に置いたり、幼稚園や保育園、乳幼児健診時にも配布しています。

今年度は「地域医療者からのメッセージ」と題し、小児科医の黒田先生と米山先生が診察室から見える子どもたちの様子や、気になること、気付いたことを書いて下さっています。『朝ごはんはだいじだよ』では、なぜ朝食が大切なのか、『子どもとメディア』では携帯ゲーム等の過剰なメディア漬けが子どもの発達にどんな支障をきたすのか、『病気の時こそお父さんは冷静に』では、子どもの急病時の親の心得とは 医学的な内容も含めて平易な言葉で説かれています。

家族で囲む食事が、何よりも「心の栄養」になるという『こどもの幸せ』のお話は、全ての世代の人達にも当てはまる大事なメッセージだと思いますし、『子どもとメディア』は、最近多い携帯電話が常時手放せない人達にとっても、周囲の人達としっかりコミュニケーションできているか今一度考え直すきっかけになると思います。

「つうしんを娘に送ってやったわ。」「子育て終わったけど(つうしん)もらって帰るね。」というお声を頂くことがあります。是非、つうしんを手にとっていただき、手近な所に置いて、何度も読み返していただけたらと思っています。



夢づくり塾に参加して

生まれてまもない赤ちゃんがベビーカーに乗って、幼いお兄ちゃんお姉ちゃんが、お母さんに手を引かれて夢づくり塾に参加されている姿は、ほほえましくもあり、がんばっている背中に拍手を送りたくなります。

「何かお手伝いできる事があれば」の気持ちで、塾に参加していますが、頑張るお母さんと子どもたちの力強さや成長する場面を共有できる時間が、反対にパワーをもらっているように思います。

過ぎてしまえばただなつかしさや愛しく感じるばかりの子育ての場面ですが、いろいろな子育て世代の経験や新しい情報、町内でのトピックス等が満載の「心そだち場樂習隊」の時間が、がんばるお母さんの栄養になり、明日の子育ての活力になればうれしいです。

3年目の『樂習の証』作り

ボランティアグループ「おひさま」にとって今年で3回目となる和紙の「樂習の証」作りです。

「樂習の証」作りはメンバーのそれぞれの秘めた力が表に出る機会だと思います。写真を貼るための和紙を試作していくうちに、心も手先も繊細なYさんが優しい花模様とほんのりぼかした水玉模様を作り出していました。温かい親子の皆さんの写真に似合うだろうなと思いました。

樂習の証の印刷は一枚づつ『プリントごっこ』でしています。一連の作業がスムーズに行くことはまずなく、小さなトラブルの連続ですが、その度にKさんのアドバイスに助けられて乗り切り、心をこめて仕上げることができます。

メンバーひとり一人が得意なことも、苦手なことも、挑戦、失敗を繰り返して気持ちをひとつにして樂習の証を作り皆さんにお届けしています。

さて今回私は塾長から、もうひとつ作成を依頼されたものがありました。医院、施設を訪れた人に、「心そだち場樂習隊塾の『つうしん』」を手にとってもらいやすくするための、ポケット式壁掛けの『つうしん』入れです。私は図工の成績がいつも「ふつう」だったので、工作が決して得意な方ではありません。

塾長の、あらゆる立場の人たちへの細やかな心配りを形にするため、何度も試作を繰り返し、苦悩、苦痛が続きましたが、私なりに精一杯作りました。私は作りっぱなしですが、最後の詰めや、活用を継続してお世話してくださる塾長に感謝しています。



夢づくり塾「子育て楽習隊」

11月23日の「日本文化の集い」では、たくさんのおじいちゃん、おばあちゃんと小学生に高校生のお兄ちゃんお姉ちゃんたちと、0歳から3歳の小さな子どもたちまで、たくさんの異年齢の人々が集まり、播磨南高校の吹奏楽部による楽しい演奏と歌、老人大学のおじいちゃん、おばあちゃんたちとのたくさんの昔遊びがありました。

また、この催しの一つにみんなで童謡遊びのリーダーをさせていただきました。おじいちゃん、おばあちゃんたちと「げんこつやまのたぬきさん」を歌い、ジャンケンゲームをしました。「勝った!」「負けた!」「あいこだ!」楽しい声があっちこちから聞こえてきました。子どもたちの声はもちろん、必死に勝とうとするおじいちゃんの姿が微笑ましく歌声にも、だんだんみんな力がはいつていました。そして「とうりゃんせ」では、おじいちゃんおばあちゃんたちにトンネルを作ってもらい、その中をお母さんと子どもたち、小学生、高校生たちがワクワクしながら「とうりゃんせ、とうりゃんせ」と歌いながらくぐっていきます。最後の「怖いながらも、とうりゃんせ、とうりゃんせ」で捕まるとみんな「わあー」「きゃー」ととても、楽しそうでした。みんなの声も段々大きくなってきて、盛り上がってきました。こんなにたくさんの小さな子どもから小学生、高校生おじいちゃんおばあちゃん達とふれあい、楽しめる行事はなかなかなく、この行事に参加された一人一人今日は、楽しい一日となったと思います。この行事に参加しリーダーさせて頂き、私自身の貴重な体験もさせていただきました。



親子ふれあい遊びに参加して

2月14日(土)中央公民館大ホールにおいて、神戸松蔭女子学院大学教授の勝木洋子先生をお迎えして、親子ふれあい遊びを楽しみました。

まず、わらべうたにのって抱っこやおんぶ、肩車などで親子のスキンシップを楽しみました。次に、新聞紙を使って親子で遊びを考えました。ボールとバットを作って野球ごっこ、ボールをけてサッカー、新聞紙のしっぽ取りなどをしました。そして、持ってきた1週間分の新聞紙をビリビリに引き裂いて紙吹雪を作ったり、その中に埋もれたり、寝転んだりして、親子で楽しいひと時を過ごしました。

勝木先生は「親子で一緒に遊びを考えたり、一生懸命子どもと遊んだり、楽しむ姿が子どもの心を豊かにし、満たしていくのです。」と話されていました。

その後、塾生と勝木先生を囲んで、今の子育て支援について話し合いました。

「親子が自由に行って遊ぶ場所はたくさんありますが、親になる支援プログラムを学ぶ場所が少ないです。二つの場所があるといいですね。」と話されていました。

私も、お母さんと子どもが心をつなぐ大切な時期に、お手伝いできてよかったです。



心そだち場樂習隊塾に参画して

心そだち場樂習隊塾に参画して3年が過ぎようとしています。
グループ活動から、町の行事に参加したり、講演会をしたり、様々なプログラムを行いたくさんの方に参加していただいております。

又、夢つうしんを発行して、19号目が出来あがりしました。1号～13号は、「抱かれる子どもはよい子に育つ」をお母さんの視点で、要約して発行致しました。現在は1冊の冊子として手づくりでお届けできるようになりました。14号からは、医療者からのメッセージを播磨町内の小児科医の米山先生、黒田先生から、お忙しい先生方ですが、原稿を書いていただいております。今は、その心にひびく夢つうしんをひとりでも多くの方に読んでいただきたいと、塾生一丸となって、播磨幼稚園、播磨西幼稚園、蓮池幼稚園、蓮池保育園、播磨保育園、播磨中央保育園、キュウピット保育園、米山小児科、黒田小児科、各コミセン、福祉会館などに配布をお願いしております。

現在、子育ての情報は、世の中にたくさんあふれていて、若いお母さん方にとっては、どれを参考にしたらいいのか迷われていることと思います。ご自分の子育てに合った情報を見つけ出し、未来ある子どもたちを生き生きと育ててほしいと思います。



ボランティアグループ
「エプロン母さん」に
お願いして



1. 育児休暇満了

悠希が2歳になると同時に、私の育児休暇も満了となります。

私は元来ぐうたらなので、“専業主婦”になると、だらだらとテレビを見たり、昼寝をしたりして時間を過ごすことになってしまいそうだと思っていました。社会の一員として働いていることに誇りを感じていましたので、結婚するときも、出産のときも、退職することはあまり頭にありませんでした。それどころか業務の過渡期に休職することで、自分が取り残されるようで歯がゆくも感じていました。

けれども今、そんな思いはすべて吹き飛んでしまいました。

悠希を授かったことで価値観が一変したと思います。

懸念していた“専業主婦”のぐうたら生活なんて悠希が許してくれません。出産してから私はほとんどテレビを観なくなりました。昼寝したくても、悠希が寝てくれないことには何もできません。パワーをもて余す悠希をいかに疲れさせてよく眠ってもらうか。その為毎日いろんな場所に遊びに出かけました。

子育てをしていると、いろんな事にぶち当たりますが、その度「ああ、今が本番だあ！」と思います。今まで私が経験してきたことや、見聞きしてきたことを統括して判断する。そして悠希へ伝える。私の今までの経験はすべてこの本番の為のステップだったのかなあと思えます。

今、主人がいて、我が子がいて、みんなで一緒に色々経験できることを本当に幸せだと感じています。とても充実したこの時間をかけがえのないものだと感じています。

このまま退職して今の生活を続けたいという気持ちも大きいのですが子どもを得たことでより真摯に“働く”ということに取り組みそうだと感じてもありますし、またそれを子育てに生かせそうだと期待してもあります。

不安と期待でいっぱいですが、悠希のおかげで広がった世界をさらに広げて行きたいと願っています。



2. この7月で2歳

今回、2回目のノートが回ってきました。

去年1年間「コアラ抱っこ」に参加させていただき本当に色々な経験をしました。初めての子育てで、わからない事や心配なことだらけでしたが、もう7月で2歳になります。

「魔の2歳」という言葉をよく聞きますが、自我が出てきて何でも自分でしたがる、何でもイヤイヤ...親としても大変ですがそれも成長なんだなあ~と思います。それと同時に言葉もよくしゃべる。何でも覚えて、身振り手振りで伝えてくる姿がたまらなくかわいいです。

守田先生、村上先生も忙しい中、継続して頂き大変感謝しています。ありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。これからも親子共々一緒に成長できたらなあ~と思います。



3 . 播磨南高校訪問

お疲れ様です。川中です。今回 2 回目のノートになります。

さて、早速ですが本日のコアラ抱っこは播磨南高校訪問をしてきました。2 組に分かれて、私達先発組は朝 9:30 ~ 10:45 の約 1 時間程で親子さん 10 組位、高校生 18 人いました。

内容としては、子ども 1 人に対して高校生 2 人が付く形となってゴザを敷いたお部屋の中で玩具と一緒に高校生と戯れる雰囲気...かなあ？あとは、ママさんと高校生が妊娠中や育児中の苦労話を個々でしてって感じでしたが、残念ながら私はあまり話せなかったです。丁度、綾子のお昼寝タイムでグズって大変でして、あっという間の 1 時間になってしまいました。

後発組は朝 10:30 ~ だったので最後の方で一緒になりました。しかし、子供を見ていた高校生が「かわい~」と叫ばれて(?)皆さん、母親としてメチャ気持ち良かったと思います！

よくココまで育ててきましたよ、私達！！ 誰かほめて欲しい！



4 . 日本文化のつどい

「日本文化のつどい」に参加させて頂きました。

播南の高校生の方とは6月に1度交流をもたせていただく機会があり、その時に若いエネルギーを感じました。

今回も主催が播南の方ということで楽しみにしていました。久しぶりに舞台を見ることが出来、小学生の日舞、吹奏楽部の演奏などのすばらしい時間をすごさせて頂きました。特にことぶき大学の方がパタパタ鶴と紙飛行機の折り紙のおり方を教えて下さった事が印象に残っています。

年代それぞれの方々が集まったつどいで「折り紙」というシンプルな遊びをすることで、さまざまな楽しみ方があるのだなあと感じました。お土産の中にも入っていた折り紙の袋は稔平もわくわくしながら開けていました。

「とりパタパタ」「星（風車のことです）くるくる」などお話ししながら今日のつどいの時間で作った折り紙お土産も大切に遊んでいます。

貴重な体験をさせて頂きました。ありがとうございました。おからクッキーもとても美味しくいただきました！



5. 「こどもの館」へ

「こどもの館」へバス旅行！

11月23日、朝からお天気に恵まれ出発です！「おはようございます」とみんな元気いっぱいバスに乗り込みました。姫路まで約1時間で到着です。私も子供と一緒にみんなでバスに乗るのが初めてで、途中ぐずったら...と少し心配でしたが、全くぐずらず無事到着です。

「森の中に建物が...」「見えてきた」みんなワクワクです。守田先生が「桜の頃」「五月の節句の頃」それぞれの季節になるとまた楽しいよと教えて下さいました。自然にふれあうことができるところです。

落ち葉のあるところを歩いたり、水のせせらぎを見たり。子供は何でもないところでもすごく楽しそうにしています。どんぐりや落ち葉を使って工作をしました。子供以上に私達も自然を感じることができました。またプライベートでも是非また訪れたいです。たまには戸外でお弁当を食べるのもいいなあと思いました。毎日、育児、家事と忙しい毎日ですが、自然とふれあい気持ちいい風を感じる、有意義な一日でした。



6．絵本大好き

今日は来週のクリスマス会についての話をしました。

川中さんが持ってきてくれたかみしばいをすることに決めました。家では毎日読み聞かせをしています。絵本が見たくなったら“読んでちょうだい”って言って持って来ます。そして私の膝の上に座って一緒に絵本を見ます。何回も見ている本の内容は覚えてしまっているらしく、紗彩の方から“むかしむかしあるところに～”と私に読み聞かせをしてくれます。夜、寝る前が多いのですが、この時間は2人にとって楽しい時間です。

クリスマス会ではいつもと違って大きな紙芝居なので楽しみです。そしていつもコアラ抱っこでの手遊びはどれも気に入っているみたいで家でもよくやっています。ガタガタバスや手のひらを太陽になどいろんな歌をうたっています。会話も普通に成り立っているので毎日楽しいです。分かりすぎている分、“ごまかし”は全くといっていいほどききませんが…。日々成長を感じます。もう少し落ち着いてくれたらなあと思うときもありますが、元気に楽しく遊んで、会話して毎日ニコニコしているのを見ていると本当にうれしく思います。来年のコアラ抱っこも楽しみにしています。



7. クリスマス会

今日は本年最後のイベント“クリスマス会”でした。

和室だったので9カ月の子供がいる私にとってはとても助かりました。今日の翔陽は最初は守田先生のお話をちゃんと座って聞いていて、川中さんの紙芝居(絵本)はまん前だけとおとなしくしっかり絵を見ていて、先生の注意も率直に聞いていました。こういう時しか、少し親としてちょっとキョリを置いて見る機会がなく「翔陽ってこんなお兄ちゃんになっとなあ。絵本すきやったんや...ちゃんと集団の中にとけこんで、みんなと一緒に座ってる〜！」っておどろき、うれしかったです！1才半~2才2カ月頃までは「イヤ²、ギャーギャー、抱っこ²、帰る〜、ワァーン」ばかりで大変でしたが、最近は 言って聞かせる 自分で落ち着く が出来るようになってきました。来年は、他の人に思いやりが持てるようになったらいいな...

そして今日は先生方、子供たちのために、クリスマス会をして下さって本当にありがとうございました！また、本年中は大変お世話になりました。来年もよろしく願いいたします。



8 . あけましておめでとう

2人目を出産してから、初めて参加しました。

今日は折り紙でコマの作り方を教えて頂きました。折り紙は3枚使用し、すべて折り方が違っていたので、きちんと聞いていないと分からなくなり、少し難しかったです。出来上がりは良く、子供もとても喜んで遊んでくれたので良かったです。

折り紙なら家でも外でも簡単に使えて楽しいので、他にもいろいろと教えてもらいたいです。もう少し大きくなったら一緒に折って楽しめそうなのもあればぜひ教えてほしいです。

久しぶりにコアラ抱っこに参加して、陽咲はとても嬉しそうで、虎太郎もずっと機嫌が良かったので、頑張って行って良かったです。これからはまたどんどんと参加していきますので、よろしくお願いします。



9 . 今年子どもとどう向き合うのか

今日は、久しぶりの参加でした。ハンドベル、鈴を使って子どもたちと楽しく歌いました。下の子颯志も歌にあわせて楽しそうに手をたたいているのでビックリしました。少しずついろんなことができるようになってきているんだなぁ…。と発見でした。冬は風邪が流行する時期でうつたら嫌だなと思うとなかなか外出できないでいる私ですがこうしてお友達と一緒に遊ぶことは大切で子どもたちの成長にもつながるんだなぁと大智や颯志の楽しそうな姿を見て思いました。今日は、今年目標を発表したのですがもう一つ増やそうと思います。「～がいやだから」と外出せず家にこもるのではなくて、どんどん外出して子どもたちにいろんな世界を見せてあげようと思いました。



10. 「鬼」のぼうし

今日は包装紙を使って「カブト」を作りました。久しぶりに作ってみると作り方が分かりませんでした（笑）カブトをかぶって、みんなで写真も撮りました。昨日が節分だったということで、今日のおやつは「お豆」を頂き、歳の数以上、舜太は食べていました！「パンダ・コアラ・ウサギ」や「手のひらを太陽に」をみんな楽しそうに歌っていました。

最近は自我が出てきて、笑わせてもらうことが一杯で成長を感じる毎日です。一杯の幸せも舜太からもらえます。急に何でも出来るようになって、ビックリすることもあります。その反面、つい「ダメ！」と言ってしまうことも増え自己嫌悪になることも多々あります。心の広い母親になれるように一緒に成長したいのですが...気持ちに余裕を持ってがんばります！！

感想「コアラ抱っこに参加して」

初めての子育てで慣れないこと分からなくて不安になることばかりでしたが、コアラに参加していると誰に聞いていいか分からないことでも（ちょっとしたことでも）先生にすぐ聞け、アドバイスをもらうことができるので私にとってはとても大事な場所です。子どもにとっても色々なお友達と接することはとても大切で特に一人目は周りが大人ばかりなので、同年代のお友達と接して帰ってきたら他の子のしていたことをまねしたり1日で成長を感じます。

普段では聞けない、色々な先生の話や聞けたり教室を開いてくれたり子どもの成長に大切なことをたくさん教えて頂いています。去年は姫路の「子供の館」へバス旅行にも連れて行って頂いて、親子3人とても楽しい1日でした。パパが参加できる行事やバス旅行の機会が増えれば嬉しいです。

私個人のことですが、子供を伸び伸びと成長させたいのですが「我がまま」と「伸び伸び」の区別はどうしたらよいのでしょうか...「しつけ」もどの程度まで見守ったらよいのか...コアラの中で教えていただければ幸いです。



11.「コアラ抱っこ」に参加して

今年度は、第二子の出産もあり、あまり参加することができず、残念でした。でも徐々に参加しても快く受け入れて下さり、感謝の気持ちでいっぱいです。また、講演会や活動には先生方をはじめ、サポーターの方々が、いつもサポートしてくださったので、勇気を持って安心して参加することができました。最後になりましたが、いつも回りの方々に感謝をしながら、これからの子育てに生かしていきたいです。



12. 渡辺友江先生 元八千代町（両親教育インストラクター）を迎えて

今回はピアノを弾いてくださる先生がいらして、みんなで歌を歌い楽しみました。やっぱりみんな歌が好きなのかピアノの音になりみんなの知っている曲が流れると手をたたいたりリズムに合わせて体を動かしたりしてとても楽しそうでした。たくさんのお友達と歌を歌うことが滅多になく普段は私と2人なので涼菜もみんなで歌う楽しさを少しでも味わえたのではないかと思います。とても楽しそうにいい顔をして歌っていたのを主人に話すと“見たかったなぁ～”と残念がっていました。またみんなで歌を歌ったり楽器を持って音をならしたりして遊んだりしたいなぁと思いました。「みんな一緒に何かをすることの喜び」を学んでいけたら嬉しいです。



前列左 為田恵美さん、涼菜ちゃん
後列右から三人目 渡辺先生

13.「コアラ抱っこ」に参加して

「コアラ抱っこ」に参加して約1年が経ちました。最初の頃、碧がとてもおとなしく、いつもの自分をだせていませんでした。私はそのことを心配して不安になったことがありあました。

しかし先生や友達がいつも優しく接してくれて夏はプール秋はバス旅行、冬はクリスマス会と四季を通したイベント等に参加していくうちに碧の表情や態度に変化が出てきました。私の側から離れて友達とおもちゃを取り合ったり、先生の側に行つて相手をして欲しそうにしたり手遊びを一緒にするようになりました。笑顔が増えたのがとても嬉しいです。

イベントの中で特に喜んでいたので「バス旅行」と「ピアノの先生」だと思います。「バス旅行」ではこどもの館の自然が印象的でした。こども達が落ち葉を踏んでいる音を聞いて懐かしい気持ちになりました。室内のプレイルームでも楽しそうにはしゃいでいましたし、みんなと外でお弁当を食べたのもいい思い出です。

「ピアノの先生」にはたくさんの童謡を教えていただき、親の私も癒されました。こどもは、生演奏を集中して聞いて、手遊びも積極的にしていました。

また、イベント以外では最近2人目を妊娠出産されるお母さんが多いので、2人のこどもの育児の大変さや一人目の心の成長を間近で見ることができてとても勉強になります。近い将来、私も2人目を欲しいと思っているので相談できる先輩や先生がいてくれることは心強いです。こどもも友達の兄弟姉妹を見て何か感じることもあると思います。

このように、親もこどもも成長できる場を提供していただいて、とても感謝しています。ありがとうございます。これから、ますます成長する子供に喜んだり不安になったりすることもあるかと思いますが先生や友達に相談して一人で抱えこまないように楽しく育児をしていきたいと思っています。



14. 「コアラ抱っこ」に参加して

「コアラ抱っこ」は、近場にある子育て支援センター等で知り合えるママさん達とは違った、少し戦友みたいな感じのママさん同士の集いであると思います。

何故なら、この「コアラ抱っこ」は初産で、尚且つ、同学年の子供を持つママさん達の集まりですから、同じ立場で同じ悩みを抱えたママさん達なので、とても気持ちを分かち合える仲間なのです。子育て支援センター等で知り合ったママさん達も、勿論、参考になります。しかし、2人目・3人目の子供を持つママさん達や先生方に「大丈夫、大丈夫！ 適当でも、子供は育つものよ」と言われても...何もかもが初めてな子育ての私達にとっては、少しの熱や咳、ちょっとした下痢やオムツかぶれだけでも不安いっぱいです。適当に出来ないのです。

周りのベテランママさん達にしたら、そんなちっぽけな些細な事柄でも、お互いに“真剣に”相談しあえて、悩みを“共有”し合える「コアラ抱っこ」は本当に私の子育てに対する精神的不安を取り除いてくれるサークルなのです。

子供が同学年のママさん達の悩みなので、相談内容が一致するだけに、守田先生たちからの助言も分かりやすく受け入れやすく、確かに、サークルに参加した後は、わが子に対して優しい気持ちで接していけます。ただ、そういった優しい気持ちを毎日継続できないのが難点で、毎回「コアラ抱っこ」に頼ってしまうのが現状です。また、子供同士も同学年だけに「ひと月立てば、うちの子はああやって成長するんだ」と、わが子よりひと月くらい早い他の子供さんの成長振りを観察することも出来ますし、そのママさんからのアドバイスも聞けたりして、これだけでも自分の子育てに対して、少し自信につながっていくのです。

とにかく、私は自分の子育てに不安です。自身が持てません。全てが初めてですから。そんな子育てを手助けしていただける「コアラ抱っこ」の活動は、家の中では出来ない楽しい行事がいっぱいです。季節に合った行事（春：お花見・バスで町内めぐり、夏：簡易プール・移動水族館、秋：姫路までバス小旅行、冬：クリスマス会など）があり、同学年の子供同士での遊び（同学年なので、遊び難易度も平均的）やご年配の方々・高校生達とのふれあい遊びで社交性もあって、とてもいい体験をさせてもらっています。特に、結婚して初めて播磨町に来た私にとっては、バスで町内を案内してもらえた時は子供以上にとても感激しました。また、わが子が保育園に通っていない分、そういった行事をしていただけると私達、親としても子供が楽しんでいる姿を見ていると「コアラ抱っこ」に参加してよかったとつくづく思います。

あと、欲を言わせてもらえるならば、母親だけでなく父親も恥ずかしながら自ら進んで参加できるような行事が盛り沢山あれば、より嬉しく思います。主人にも、こういった子育て体験・悩みを“真剣に”“共有”してもらいたいです。



有澤 利日・稔平

15. 播磨町に希望すること

私は2歳3ヶ月の子供がいます。子供が生まれ、2ヶ月の頃から福祉会館の子育て教室に参加したり、北部支援センター、南部支援センターを利用させて頂いています。また、1歳を過ぎた頃から「心育ち場楽習隊」のコアラ抱っこグループに入り、月に2回の集まりに参加しています。子育てに関する、施設やイベントがたくさんある播磨町は、初めての子育てをする私にとって、とても助けられる、子育てをしやすい町だと思います。特に「コアラ抱っこ」では同級生の子供の母と子が集まり、先生のご指導を仰ぎながら無理のないペースで子供にいろいろな経験をさせて頂いています。私自身も、初めて子育てをする母親同士での育児の話や相談ができ、抱えてしまいがちな育児の悩みも、この場を通して「無理をしない自分らしい育児」を学ばせて頂いています。先生が計画してくださる行事は、お友達と一緒に遊びを通して、学び、楽しめます。なかなか修園前に“母と子”でこのような行事に参加できる場はなく、貴重な経験をさせて頂いていると、いつも感謝しています。このようなすばらしい活動は播磨町で、これからも10年、20年と継続し続けて頂きたいと思います。

施設で希望することは、そろそろトイレトレーニングを始める月齢になってきているため、子供を遊ばせる施設に子供用トイレや手洗い場がないことに気が付きました。南部支援センターは子供用トイレ、手洗い場が広いスペースで設けられていますが、利用する親子が非常に多い、北部支援センターにはありません。手洗い場での「手洗い」は月齢の低い0歳児からも、他のお友達と経験する貴重な経験だと思います。子供を遊ばせるための施設や公園にも、補助便座や子供の手の届く手洗い場があればより子育てしやすい環境になるのではないかと思います。ご検討いただくと、この先も子育てをしていく親として幸いです。

播磨南高校との交流事業

「幼児と遊ぶ」の授業には、コアラ抱っこグループの親子が、播磨南高校に出向き2クラスに分かれて、高校生とふれあっていただきました。親達は高校生が、子どもたちのことを可愛い、可愛いといって相手をしているそばで、出産や子育ての大変さも話していました。親にとってもいい体験だったと思います。子どもたちとふれあった高校生の中の女子高生2人男子高生1人から保育士になりたいと言うお手紙をいただきました。三人の方々に同じお返事ですが、出さしていただきました。

守田 連雲子 様

2008年12月18日

播磨南高校生：T.I

拝啓

年の瀬を迎え、何かと気ぜわしくなってきましたが、お元気でいらっしゃいますか。

さて「幼児と遊ぶ」の授業では、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。わたしの夢は保育士なので、あの時間に体験させていただいたことは、とてもよい経験でした。最初は子どもの方があまり心を開いてくれなかったのですが、おもちゃで遊んでいるうちに、段々と心を開いてくれ、最後はとても仲良く遊ぶことができました。将来保育士になったとき、心を開いてくれない子どもがいても、あの授業で学んだことを生かしながら頑張っていきたいと思います。

どうかお元気でよい年をお迎えになりますよう、心からお祈りいたします。

敬具



播磨南高校 T. I 様

2009年1月16日

塾長:守田 連雲子

おくればせながら
明けまして
おめでとうございます

去年は「幼児と遊ぶ」や「日本部文化の集い」などでお会い出来とても嬉しく思っています。そしていただきましたお手紙ですと、保育士さんになる夢を持っていられるとの事素晴らしいと思います。どうぞその気持ちを大切になさって努力して下さいませ。

保育士さんは、社会の宝である幼い命を預かり育む大切な役割を負い、他方で保護者の方々に子どもの心を伝え、その親をも力づけ元気付ける役目も必要とされています。

あなたご自身が持っている「愛」をより豊かになさり、子どもが好き～大切・・・どんな子どもでも受け入れることができる心豊かな保育者を目指して下さい。あなたがそうであった様に子どもは、愛される為に産まれて来ます。子どもたちにたっぷりの愛をそそぐ為には、ご自身が周りの方から沢山の愛をもらって下さい。愛されている事に気付いて下さい。そしてそれをエネルギーにして夢を自分のものとなさって下さい。陰よりお祈りしています。

あなたからのお手紙を1月16日(金)3歳児健診の日にいただきました。丁度保護者の方々にお便りを配っている時でした。

同封の資料は、現在活動している播磨ゆめづくり塾(心そだち場樂習隊塾)のつうしんです。播磨町の小児科医の心を伝える為に発行しています。町内の保育園、幼稚園でも配っていただいています。ご参考にして下さい。つうしん17号に掲載しています「勝木洋子先生と新聞で遊ぼう！」にボランティアとしてご参加いただけませんか？よい経験になると思います。これからもよかったら夢を叶えるための応援をさせていただきたいです。遠慮なく言って下さい。

お手紙ありがとうございました。お身体を大切に頑張ってくださいませ。

かしこ



平成 20 年度 塾生名簿

塾長 守田 連雲子	瀧本 トミ
副塾長 下垣 俊子	西山 陽子
会計 村上 安子	福井 香理
浅原 奈緒子	松井 昭雄
笠原 和泉	安福 かよ子
川上 聡子	山本 千代子
河村 知里	山本 美代子
佐伯 美代子	吉田 美智子
多木 佳代子	

~ 資料編 ~

お母さんと呼ばれるあなたへ

あわて者でもいい
泣き虫でも好い
手先が不器用でも
音痴でもかまわない

迎春

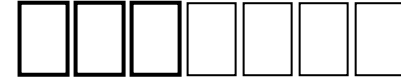
もちろん
人が振り向くほどの
美人である必要も無い
とりたてて特技がなくても
高尚な趣味も
うわさに上がるほどの博識も不要

おまけに
学歴 職歴 賞罰
一切不問

そのままのあなたがいい
そのままのあなたが好き
赤ちゃんは そう言いたくて
あなたに両手をのばしてくる

(浜 文子作)

播磨ゆめづくり塾 心そだち場樂習隊塾
塾長 守田 連雲子(Fax079-435 - 1828)
〒675-0142 播磨町大中3 1 7 - 4



平素は温かい心で塾活動にご協力下さり
ありがとうございます。

今年度もあと三ヶ月をとうしてお願い申し上げます

一月七日(水) 十時～「FALGの集い」
十四日(水) 夢っしん 1号発行

二四日(土) 十時半～「FALGの集い」
一月四日(水) 十時～「FALGの集い」

十四日(土) 九時～一般十時(子育てフォーラム
新聞紙で遊ぶ 勝木洋子氏 新聞十日分要

十二時半～講師と塾生研修会(特研)

三月十一日(水) 十時～「FALGの集い」
夢っしん 1号発行

* 三月二日(日)午前中 視聴覚室

【塾活動 成果発表会】

参加者(町長、企画G職員、塾長、塾生、一般
各塾から二十年度の活動報告をく

まじくぐりの提案、意見交換

* 夢っしん1号からは幼稚園から配布

病気の時こそお父さんは冷静に

黒田 英造

子育て真っ最中のお父さんお母さんにとって一番心配なことは、子どもの急病です。その中で一番多いのは発熱です。子どもが夜中に急に熱を出すと、お母さんは不安でたまりません。でも、発熱以外、子どもの状態がいつもと変わらなければ心配ありません。翌朝、かかりつけ医を受診してください。「これくらいは大丈夫。もう少し様子を見てもらえ」とやさしく声をかけてくれる存在であるお父さんがそばにいてくれたら、お母さんも気持ち楽になりますよね。もし赤ちゃんがしゃべれたら「お母さん、ボクだいじょうぶだよ。病院よりお母さんのおっぱい飲んでるほうがいいよ」といった感じですよ。夜間急病センターに勤務していますと、寒い冬の夜中に遠いところから、いっぱい服を着せられた子どもが受診する場面をよく経験します。診察室に入ってくる子どもは眠い目をこすりながらきょとんとしています。お父さんも普段から時間の許す限り子育てにかかわり、子どもの様子を観察してください。たかをくくって診察をつけるのを伸ばすのもよくないですが、「これはいつもとちがうぞ」という「カン」が働くよう普段の子どもの様子を観察することが大切です。

このたび医師会では『こんな時どうする……子どもの急病対応ガイド』という小冊子を作成しました。播磨町では保育園、幼稚園、小学校低学年にはすでに配布されていますが、必要な方は各医院、子育て支援センターにありますのでご利用ください。

次の号は米山先生からメッセージをいただきます。

心そだち場樂習隊塾より

「温かい社会をめざして愛をどう伝えるか」の研究会も三年目に入りました。今年度は地域の小児科のお医者様より応援をいただけの事となりました。感謝で一杯ですし塾活動を続けていってよかったと思っております。ご存知のように全国的に産科、小児科が減り医療者の疲労は大で社会問題となっています。東播磨地域でも四月より小児科の深夜診療が中止となりました。六月二十八日地域住民の不安を解消し急病時の対応法や医療機関の利用法を考える「子どもの急病対応解説」のフォーラムがありました。当塾からも塾生が参加しました。その一部ですがお伝えします。

《小児救急医療のかかり方》

迷ったときは小児救急電話相談を利用しましょう (8000・078-731 8899)

小児救急医療機関には、夜間の急病や緊急を要するときに受診しましょう

診療受付は午前0時まで (079-431-8051)

小児救急医療機関を受診するときの持ち物 (保険書・乳幼児医療証・母子保健手帳)

小児救急医療機関の受診後は、必ずかかりつけ医に診てもらいましょ

その他大切な事は「こんな時どうする……子どもの急病対応ガイド」をご利用ください
ある地域の子育て世代のお母さん方が、「子どもを守りたい、お医者さんを守りたい」との思いから次のスローガンをかけ啓発活動をされているのを知りました。

「子育て受診を控えよう」 「かかりつけ医を持つ」 「お医者さんに感謝の気持ちをお伝えよう」

私たちも学びたいと思います

子どもの体調が悪い時どついたらいいのか、普段からかかりつけ医に相談して子どもの様子を見ながら親として出来ること(安静にさす、消化のよいものを与える、体を温める、外出を控える、スキンケアを充分に等)を実行しましょう

本の紹介

《赤い聴診器！病気なんかには負けないぞ》 土屋邦子先生 (小児科医) 著……ご講演を予定しています (日程未定)

朝日新聞に二〇〇四年から二年間子どもの病気に関するエッセーを執筆されました。日々の暮らしの小さな心配について、「お助けハンドブックになってくれれば」と願ってまごめられた本です。(定価八〇〇円)

問合せ先 心そだち場樂習隊塾 守田 連雪子 (Fax 079-435-1828)

米山小児科 (078 943-0135)

診療案内

午前 9時～12時
午後 15時～18時
水・金曜午後及び日、祝日休診
第2、4土曜午後休診
第1、3土曜 13時～15時診療

くろだ小児科 (079 430-2111)

診療案内

月～土 9時～12時
月・火・水・金 16時～18時15分
火・金 予防接種、水曜乳児検診
休診日 木・土午後、日、祝祭日
但し第3木曜は全休

「お母さん、皆で食べるごはんは、おいしいね！」

豪華な「ちそうが並んでいなくても家族で囲む食卓。それが毎日は無理でも、たとえ一週間に一回でもいい。できれば皆で協力してつくったおかずが一品でもあればなおさらのことうれしい。(こどもはとってもお料理に興味があります。お手伝いしたいのです。) テレビを消して摂る食事。

一日の、一週間の出来事あれもこれもお父さんやお母さんに聞いてほしいことばかり。普段は忙しくてつい結論を先にしてしまいがちですが、ゆっくりと聞いてあげてください。

食事は空腹が満たされるだけでなく心の栄養にもなります。空腹で血糖が下がると、イライラしたり判断力が鈍ったりし、食事を摂ると満腹感に満足感、充足感、幸福感を感じるのはご存知の通り。

さらに食事が楽しければ幸福感も倍増します。古いですが「衣食足りて礼節を知る」ということわざがあります。「衣と食が不足しては礼節どころではない」という意味の奥に、食事は人が生きていく上で他人に迷惑をかけない、不快な思いをさせない最低限のルールを知る場でもあるともいっているように思えます。だから食事なしや孤食、個食は、大切な学びの場を減らしていることになりません。

「学力は生命力だ。生命力の基本は食生活にある」これは「百ます計算」で知られる陰山英男先生のことばですが、何か胸にビビッと響きませんか？

SSSS 次号は黒田先生からメッセージをいただきます SSSS
心そだち場樂習隊塾より

＜小児救急医療のかかり方＞

迷ったときは小児救急電話相談を利用しまじゅん (8000・078-731 8899)

小児救急医療機関には、夜間の急病や緊急を要するときに受診しまじゅん

診療受付は午前0時まで (079-431-8051)

小児救急医療機関を受診するときの持ち物(保険証・乳幼児医療証・母子保健手帳)

親の「心配メモ」(発熱、嘔吐、下痢などの様子を簡単に記録したもの)

現物(誤飲したなら同じ物、又は残りを吐いたなら吐物を、下痢、血便であればその便を、必ずそのまま持参する)

小児救急医療機関の受診後は、必ずかかりつけ医に診てもらいまじゅん

その他大切な事は「こんな時どうするー子ども急病対応ガイド」をご利用ください

動物由来感染症

最近ではペットも家族の一員として共に暮らすことが珍しくなくなりました。

それにつれ動物が持つ病原体が原因となった感染症が大きな問題となっています。

特にSARS(重症急性呼吸器症候群)や鳥インフルエンザ、輸入動物のペット化によるオウム病、エキノコックス症、狂犬病発生国からの犬の輸入、海外観光地での動物との接触が懸念され、ペットとの正しい付き合い方の大切さが強調されています。

日本医師会市民公開講座では、予防ポイントとして、病気に対する正しい知識を持つ動物との過剰な接触を避ける、動物に触れたら手洗い、うがいを必ず行う。動物の飼育状況を清潔にする、エキゾチックアニマルはなるべく飼わないことが挙げられ、同時に

ペットを病気から守る予防ワクチンをはじめ、ペットとの上手な付き合い方が説明されました。

モルモット、ハムスター、ウサギなどを飼って約一ヵ月後、突然激しい喘息発作を起こした人もいます。乳幼児のいる家庭ではなるべくペットは飼わないでね。もしどうしてもというなら家の外で飼って下さい。

赤い聴診器「病気なんかには負けないぞ」小児科医 土屋邦子著より

「こどもに受診を控えよう」 かかりつけ医を持つ「お医者さんに感謝の気持ち」を伝えよう

問合せ先 心そだち場樂習隊塾 塾長 守田連雲子宅 (/ Fax 079-435-1828)

くろだ小児科 (079 430-2111)

診療案内

月～土 9時～12時
月・火・水・金 16時～18時15分
火・金 予防接種、水曜乳児検診
休診日 木・土午後、日、祝祭日
但し第3木曜は全休

米山小児科 (078 943-0135)

診療案内

午前 9時～12時
午後 15時～18時
水・金曜午後及び日、祝日休診
第2、4土曜午後休診
第1、3土曜 13時～15時診療

子どもとメディア

黒田 英造

最近、外来で診察を始めると、ゲーム機を持ったまま入室し、いつまでも止めようとしないう子どもによく出会つうようになりました。子どもは母親にしかられても、ゲームが一段落するまでは止められませんが話を聞くと、家でも毎日数時間しているらしい。又、ある母親は、仲のよい友達数人が遊びに来た時、そつと子どもの部屋をのぞいてみると、友達それぞれゲーム機に向かって一生懸命、ゲームに没頭している光景は異常であり、そこに子どもらしい楽しい会話が少ないことに驚かれたようです。テレビ、ビデオ、携帯電話、テレビゲーム、携帯ゲーム、パソコンなど、子どもたちは多くのメディアに囲まれて暮らしています。過剰なメディア漬けは、子どもたちの身体の疲労だけでなく脳（こころ）の疲労を生むことが指摘されています。子どもは三歳ぐらい迄にその基礎が出来上がります。言語能力は一方的に見たり聞いたりするだけでは発達せず、周りの人に話しかけられコミュニケーションをとる中で言葉を覚えていきます。乳幼児期にこの基礎がしっかり出来なければその後の言語能力や社会性の発達に支障をきたします。

テレビやビデオは一方的な情報を与えるだけで、親子が直接会話する機会が失なわれがちです。特に二歳以下の乳幼児は長時間のテレビの視聴は避け（一日二時間以内が目安）ましょう。テレビを見る時は、その内容にあわせ子どもに話しかけたり一緒に歌ったりするのが良いでしょう。

~~~~~  
次号は米山先生からメッセージをいただきます。~~~~~

### 心そだち場樂習隊塾より

十一月八日（土）小児救急フォーラム（小児科医会主催）

「子どもの急病こんな時！とつする」が開催されました。（内容は六月二十八日と同じ）

「小児救急医療のかかり方」については、「こころそだち場つうしん 14」15に短くまとめていますので、今回は「急病時の家庭での対処法」について一部分ですがお伝えします。

#### 熱が出たとき

寒気があるときは暖かく、あつがる時は涼しくする。気持ちよく寝ることができるとよいに、少し頭などを冷やす。食欲のない間は無理に食べさせず、まず水分を十分に与える。栄養は心配ない。発熱は体が細菌やウイルスと戦つ免疫反応の一つ。薬で無理に熱だけ下げする必要はない。熱の高さと病気の重さは関係ないが、一日に数回

体温を測り、記録しておく。熱が続くようであれば、翌日かかりつけ医にいきましよう。早目に受診したほうがよいとき

生後3カ月までの赤ちゃんの発熱 水分を受けつけなくて、ぐったりしている。

眠ってばかりで、顔色が悪く、あやしても笑わない。うめき声が聞こえる。

はじめてのけいれん。熱に加えて、はげしく吐いたり頭痛がある。

（こんな時どうする！子どもの急病対応ガイドより）

### 小児科医土屋 邦子先生の「講演（子育てフォーラム）より

子どもにとって一番の主治医は保護者です。子どもを育てるためなら何も怖いものが無い母親の自信に感動します。子どもの様子が心配な時、いつも通りに機嫌が良いかよく食べているか、おしっこが出るか、おもちゃで遊んでいるかが目安です。

人間の自然治癒力を発揮させる為普段から栄養をとっておくことが大切です。早寝、早起き、朝ご飯、火を通した温かいものをバランスよく…三歳までは体を使って友達ともよく遊ばせます。六歳までは子どもは神の子、日々の細やかで丁寧な世話が子どもの一生の人格を「つくる」ので肩の力を抜いて、でも覚悟を持って子育てをしましょう。

土屋先生の確かな知識と親子へのあふれる愛情がどんどん伝わって来ました。目からうつろこの一時間半でした。紙面の都合で一部分しかお伝え出来ないのが残念です。

（塾生 安福かよ子）

### 「心そだち場」を控えよう！ かかりつけ医を持つ！ お医者さんに感謝の気持ちを伝えよう！

問合せ先 心そだち場樂習隊塾 守田 連雲子（ ） Fax 079-435-1828

米山小児科（ 078 943-0135）

#### 診療案内

午前 9時～12時  
午後 15時～18時  
水・金曜午後及び日、祝日休診  
第2、4土曜午後休診  
第1、3土曜 13時～15時診療

くろだ小児科（ 079 430-2111）

#### 診療案内

月～土 9時～12時  
月・火・水・金 16時～18時15分  
火・金 予防接種、水曜乳児検診  
休診日 木・土午後、日、祝祭日  
但し第3木曜は全休

「朝ごはんは大事だよ」

米山 温子

人の脳は眠っている時でも休まずに働いています。しかも脳は大変なエネルギー食いで、人の基礎代謝の20%もエネルギーを使っています。夕食から朝食までの間に夕食で貯えたグリコーゲンをほとんど使い果たしているので、朝食を摂ってあげないと体温は上昇しないし、脳はエネルギー不足でしっかり働けず、特に知的な作業の効率が上がりません。集中力も充分でなく、ボーンとした状態になります。おまけに心はイライラして落ち着きません。特に子どもにこの傾向が強いようです。だから朝ごはんが大切だと最近をよくいわれているのはご存知の通りです。

朝ごはんを食べるためには、ちゃんと朝起きなければなりません。夜ふかしをせずに寝る習慣をつけることが大切です。夕食後は、テレビやゲーム、明るすぎる光線は避け、お菓子など食べ過ぎずに就寝し、空腹を感じて朝起きるのが健康的だとが。そして朝食は「ご飯にみそ汁」を基本にしてがいいそうですよ。

朝は忙しいとは思いますが、お父さんにもちよっとお手伝いしてもらって朝ごはんを食べましょう。

~~~~~ 次号は黒田先生からメッセージをいただきます。~~~~~

心そだち場楽習隊塾より

東播磨地域でも二十年四月より小児科の深夜診療が中止となったのを受けて、小児救急フォーラム「子どもの急病！こんな時どうする？」を各地域で三回開催し、小児科の専門医が、急病時の対応対処法を説明されました。「小児救急医療のかかり方」については、心そだち場つうしん 14～15号に短くまとめています（16号は発熱について）ので、今回は「急病時の家庭での対処法」の一部分ですが、お伝えします。

おなかいた（腹痛）

トイレに行つて排便させてみる。腹痛が軽い時は、無理に食べさせないで水分（子ども用イオン水でも良い）を少しづつ飲ませて様子を見る。おなかをやさしく「の」の字を描くように、マッサージしてあげると少し楽になる。

早めに受診したほうがよいとき

ぐったりして泣いてばかりいる。おなかをかがめて痛がる。
歩けないほどおなか痛。ちよっとおなかをさわっただけで痛がる。
吐いている。赤ちゃんが足をちぢめていて、泣きやまなかったり、
間隔をおいてまた泣く。便に血が混じる。

（こんな時どうする！子どもの急病対応ガイドより）

コンビニ受診を控えよう かかりつけ医を持とう お医者さんに感謝の気持ちを伝えよう

〈1〉案内 子育てフォーラム「勝木洋子先生と新聞紙で遊ぼう！」

シンブンザウルス、ピリピリキングス、ゴソゴソマメゴン。
いろんな怪獣に変身して、北風小僧を吹き飛ばそう！

お父さん、お母さん、お子さんが紙かくしに会わないようにしっかりと見守りましょう。

日時 二月十四日（土）午前十時～十一時半

場所 播磨町中央公民館 大ホール

対象 一歳～未就学児と保護者（0歳児は、親のそばで見守ります）

講師 勝木洋子氏（神戸松陰女子学院人間科学部 子ども発達学科教授）

持ち物 新聞紙は持てる分、動きやすい服装、おしぼり、お茶（水分）

参加費無料 申込み不要です。当日会場へお越しください。

問合せ先 心そだち場楽習隊塾 塾長 守田連雲子宅（ Fax 079-435-1828）

黒田小児科、米山小児科の診療案内について

両小児科では、休診日が同じにならない様にされています。
かかりつけ医が休診の時に、ご心配で診察を急がれる場合は
前回配付の心そだち場つうしん 14～16号の各小児科の
診察案内を見て診療時間の確認をして受診しましょう。

お父さんのための育児アドバイス

黒田 英造

子育てが始まると両親とも授乳、おむつ替え、入浴、寝かしつけなど子どもに振り回される毎日が続きます。ことに、夜泣きが始まったら相手をしてあげるしかありません。お互いに慢性的な睡眠不足になり心身ともに疲れ果て、ついイライラして夫婦喧嘩のもとになります。外で仕事をする人にとっては、たまの休みぐらいのんびりしたいと思うでしょう。でも、仕事も家事も大変なのは同じです。ある調査では、専業主婦の週平均の労働時間は91・6時間で、会社の平均就業時間の2倍以上となっています。これだけの仕事をこなすのは大変です。夫からのねぎらいの言葉があるだけで、ずいぶん母親の心の負担が減るのではないのでしょうか。子育てに関わることは、交代でお互いに休みが取れるよう話し合ってみましょう。

最近では、父親も育児を理解し協力する人が増えたのはうれしいことです。でも一方で、多くの父親は何か子どもに関わりたいたいと思いつつも仕事の状況がそれを許さず悩んでいます。まず、夫婦でお互いに状況をしっかり伝えあうことが大切です。父親にとっては、育児に積極的に関わるにより子どもとの間に強い心の絆が生まれます。そのことで、子どもはさらに活発に育ち、父親不在による母子密着や母親の育児不安、育児ノイローゼなどが少なくなると思われます。

次号は米山先生からメッセージをいただきます

心そだち場樂習隊塾より

子どもの急病 「こんな時どうする？」

小児救急医療のかかり方については、つうしん14～15号「熱が出た時」16号「おなかいた」17号に掲載しました。今回は「下痢について」をお伝えします。

子どもが下痢をしておなかを痛がっているときは、衣服をゆるめ本人が楽な体勢をとれるようにする。下痢がひどいときは、胃腸を休めるために固形物は与えない。

脱水症状になりやすいので水分は十分に与える
母乳の場合は量を制限せずそのまま飲ませる。ミルクしか飲めない乳児の場合は通常の3分の2くらいの量を与える。

下痢の回復期には食べ物を一度にたくさん与えず便の状態をみながら少しずつ与える。
できるだけ加熱調理した炭水化物から与える。

おしりがかぶれないように、こまめに洗う。 家庭内の感染を予防するため、排泄物の始末をした手をよく洗う。紙おむつは密封して捨てる。

下痢の回復期によい食事

- ・野菜スープ（塩味のスープだけ）・りんごの果汁（少し薄めて）・おかゆ（塩味のみ）
- ・煮込んだうどん（うどんのみ）・食パン（何もつけないで）・ゆでたじゃがいも
- ・すりおろしたりんご・ペーパー用せんべい・ウエハース

早めに受診したほうがよいとき

- 色が白っぽい便、血液が混じっている便、黒い便。 高熱があるとき。 腹痛が強い。 機嫌が悪く水分をほとんど受けつけない。 おしっこ量が極端に少ない。 半日以上おむつがぬれない。 下痢が長びいて唇や舌が乾いている。

子どもの睡眠不足

子どもの健康で今、一番問題になっているのは基本的な生活リズムの乱れです。睡眠不足のため子どもの成長に一番大事な成長ホルモンの分泌が低下、結果として体力、気力がむしばまれ、ストレスに非常に弱くなり骨や筋肉も十分に発達せず成長障害をきたします。

二十四時間の大人の生活に巻き込まれること、生まれた時から家に電子画面（テレビ、ビデオ、ゲーム、インターネット、携帯電話など）がいくつもあって氾濫していることが原因です。幼児は午後八時、小学低学年は午後九時、できるだけ毎日、同じ時間に床に就かせ十時間は眠らせましょう。そして毎朝、同じ時間に起こすことが理想とされています。新学期に向けて、家中で「生活革命」に取り組んでください。朝食も必ずとりましょうね。

赤い聴診器「病気なんかにかまけないぞ」小児科医 土屋邦子著より

コンビニ受診を控えよう かかりつけ医を持とう お医者さんに感謝の気持ちを伝えよう

心そだち場樂習隊塾 塾長 守田連雲子宅（ 、 Fax 079-435-1828）

黒田小児科、米山小児科の診療案内について

両小児科では、休診日が同じにならない様にされています。かかりつけ医が休診の時に、ご心配で診察を急がれる場合は前回配付の心そだち場つうしん 14～16号の各小児科の診察案内を見て診療時間の確認をして受診しましょう。

紫外線には気をつけてネ 米山 温子

日焼けした小麦色の肌は健康のシンボルと思っていまいませんか。日焼けは紫外線(UV)によるやけど(皮膚炎)です。太陽から地上に届く紫外線には、UVAとUVBがあり、日焼けを起こす力はUVBが断然強く、表皮のDNAを傷つけ、炎症を起こす物質を出し、真皮の血流が増えて皮膚が赤くなり、一週間程で死んだ皮膚が薄い膜になり、はがれ落ちます。これ以上の傷を防ぐと細胞はメラニン色素を作り皮膚は黒くなるのです。傷ついた細胞は修復されませんが、日焼けを繰り返すうちにシミやシワなどの光老化につながり、さらに運が悪いと皮膚ガンの恐れもあらわれます。

子どもをUVから守るには、つばの広い帽子をかぶるのはもちろんですが、炎天下では遊ばない なるべくなら芝生や土の上で木陰の多いところで遊ぶ 海やプールから出ている時は長袖の上着をはおる ベビーカーでも日よけ、帽子を 日焼け止めクリームはこまめに塗る、などの注意が必要です。

UVの多いのは五月から九月。一日のうちでは正午をはさんだ数時間。薄曇りでも快晴の八割、日陰でも日なたの三割のUVが届いています。過度のUVに気をつけて、楽しい夏を親子ですこされますように。

SSS 次号は黒田先生からメッセージをいただきます SSS
心そだち場練習隊より 子どもの急病対応ガイド「こんな時どうする？」
今回は「せきについて」お伝えします。

せきは、気道にたまった痰(たん)などの分泌物や異物を外へ押し出し、呼吸機能を正常に保つための防御反応です。軽いせきで、熱もなく食欲もあるなら心配いりません。ただし、せきが長く続いて夜も眠れない時は、早くかかりつけ医を受診しましょう。

家庭での処置 空気が乾燥しないように、部屋の湿度を上げましょう。水分をとると呼吸が楽になり、たんも切れやすくなります。せき込んでいない時に、こまめに少しずつ与えます。上半身を起こし、背中をさすってあげると楽になります。横になると苦しい時は、上体を起こして何かにもたれかかる姿勢にしましょう。

救急車を呼びましょう コンコンと乾いたせきかゴホンゴホンと湿ったせきか、せきの音をよく聞き時間帯もチェックしておきましょう。咳き込みが激しく、つぎのような呼吸困難の兆候が認められる。呼吸が非常にはやい・苦しくて肩で息をする・苦しくて横になれない・息を吸う時にのどの下や肋骨の間がペコペコくぼむ

・鼻の穴がヒクヒクする 顔色や唇の色が青いとき(チアノーゼ：酸素が十分吸えなくなっている)

おねしょと夜尿症

新緑のこの季節、子どもたちにはお泊り保育、自然学校、修学旅行と、宿泊行事がいっぱい。夜尿症の子どもたちは、密かに心を痛めていますか？でも大丈夫。

赤ちゃんは毎日、おねしょをしますが、その割合は年齢とともに減り、二歳で二分の一、三歳で三分の一、四歳で四分の一、五・六歳で約一五%、小学低学年で約一〇%、高学年で約五%にみられます。五・六歳以降のおねしょを「夜尿症」と定義し、積極的に適切な対策(生活指導、薬物治療)が必要とされています。原因は夜間の尿量が多過ぎる(睡眠中の尿量を少なくする抗利尿ホルモンがまだ十分に分泌されないため)多尿型と、尿量に応じて膀胱が膨らみにくい(膀胱機能にかかわる自律神経の発達の遅れによる)膀胱型に大きく分けられますが、成長と共に両機能は必ず整い、夜尿は自然治癒していきます。個人差の大きい治療時期は治療によって早めることが出来ますので、まず小児科で夜尿のタイプと重症度(年齢と夜尿回数)を見極めてもらい、めいめいに合った治療で気長に頑張ってください。宿泊行事参加の際には、今までで一番効いた薬を用い、夜間にそつと起こしてもらいましょう。もし失敗したら他の子が起きる前に着替えさせてもらいましょう。

赤い聴診器「病気なんかには負けないぞ」 小児科医 土屋邦子著より
「コンコンとせきを控えよう」 かかりつけ医を持つ 「お医者さんに感謝の気持ちを伝えよう」
問合せ先 心そだち場練習隊塾 塾長 守田連雲(一) / Fax 079-435-1828

| | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>米山小児科 (078 943-0135)</p> <p>診療案内</p> <p>午前 9時~12時
午後 15時~18時
水・金曜午後及び日曜、祝日休診
第2、4土曜午後休診
第1、3土曜 13時~15時診療</p> | <p>くろだ小児科 (079 430-2111)</p> <p>診療案内</p> <p>月~土 9時~12時
月・火・水・金 16時~18時15分
火・金 予防接種、水曜乳児検診
休診日 木・土午後、日、祝祭日
但し第3木曜は全休</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

平成 20 年度 「心」そだち場楽習隊塾 事業結果報告書

| 月 | 日 | 時間 | 事業実施内容 | 実施場所 | 対象参加者数 | スタッフ |
|-------------|-----|---------------|--------------------|-----------|------------------------|-----------------|
| 4 | 9 | 9:00~12:30 | コアラだっこG子育てトーク他 | 特別研修室 | 親子7組/14人 | 村上・守田 |
| | 11 | 12:30~13:30 | 乳児健診つうしん配布 | 福祉会館 | 抱かれるこどもはよい
子に育つ 30組 | 守田 |
| | | 14:00~18:00 | つうしん配布準備、打合せ | 公民館ロビー | | 村上・西山・守田 |
| | 15 | 15:00~18:00 | 健康フェア参加、打合せ | 公民館ロビー | | 村上・西山・守田 |
| | 28 | 14:00~17:00 | 健康フェア参加、準備 | 公民館ロビー、自宅 | | 村上・多木・守田 |
| | 29 | 8:30~17:00 | 健康フェア | であい公園 | 6歳まで約300人 | 8人 |
| 5 | 11 | 12:00~17:00 | 19年度報告準備 | 公民館ロビー | | 村上・守田 |
| | 13 | 10:00~13:00 | つうしん配布準備 | 公民館ロビー | | 守田 |
| | 14 | 12:30~13:30 | 乳児健診つうしん配布 | 福祉会館 | 抱かれるこどもはよい
子に育つ 30組 | 守田 |
| | 15 | 9:00~13:30 | コアラだっこG子育てトーク他 | 特別研修室 | 親子10組/20人 | 佐伯・村上・守田 |
| | 20 | 13:00~15:30 | つうしん配布準備 | 公民館ロビー | | 守田 |
| | 28 | 15:00~17:00 | 5/31の集まりについて(村上) | 公民館ロビー | | 村上・守田 |
| | 31 | 13:00~16:00 | 「いのちと性」ビデオ(村上) | 和室 | 親子9組/20人 | 6 |
| 6 | 2 | 12:30~15:30 | 塾生会議 | 第1研修室 | 会計(欠) | 8 |
| | 7 | 14:00~17:00 | リニューアル資料の内容検討 | 公民館ロビー | | 村上・守田 |
| | 9 | 14:00~17:00 | つうしん原稿リニューアル | 公民館ロビー | | 村上・守田 |
| | 10 | 14:00~17:00 | つうしん原稿リニューアル | 公民館ロビー | | 村上・守田 |
| | 11 | 9:00~13:00 | コアラだっこG子育てトーク他 | 特別研修室 | 親子7組/15人 | 村上・守田 |
| | | 12:30~13:30 | 乳児健診つうしん配布 | 福祉会館 | 抱かれるこどもはよい
子に育つ 30組 | 村上・守田 |
| | | 14:00~18:00 | つうしん原稿リニューアル | 公民館ロビー | | 守田 |
| | 16 | 14:00~17:00 | 資料作り(40組)播磨南高校へ | 公民館ロビー | | 守田 |
| | 17 | 9:00~12:00 | 幼児と遊ぶ | 播磨南高校 | 親子7組/14人 | 守田 |
| | 19 | 13:30~18:00 | 打合せと資料作り | 公民館ロビー | | 安福・守田 |
| | 28 | 13:00~17:00 | コアラだっこG子育てトーク | 和室 | 親子6組/13人 | 村上・守田 |
| 13:00~17:00 | | フォーラム「こどもの救急」 | 加古川市民会館 | | 安福 | |
| 7 | 6 | | 黒田先生、安福氏より原稿 | 村上宅 | 夢つうしんN014 | 村上 |
| | 7~8 | | つうしん原稿(案)打合せ | | | 村上・守田 |
| | 9 | 9:00~12:00 | コアラだっこG安福氏報告(6/28) | 特別研修室 | 親子9組/18人 | 安福・村上・守田 |
| | | 12:30~14:00 | 乳児健診夢つうしん配布 | 福祉会館 | | 守田 |
| | | 13:30~18:00 | 夢つうしん印刷、配布準備 | 公民館ロビー | 病気の時こそ | 村上・守田 |
| | 26 | 13:30~15:30 | コアラだっこG手話歌の練習 | 和室 | 親子7組/15人
手話サークル3 | 佐伯・村上・守田・
多木 |
| 13:30~18:00 | | つう印刷、配布準備 | 公民館ロビー | | 村上・守田 | |

| | | | | | | |
|-------------|---------|----------------|----------------------------|-------------------|------------------------|-----------------|
| 8 | 6 | 12:30~14:00 | 乳児健診つうしん配布 | 福祉会館 | 抱かれるこどもはよい
子に育つ 30組 | 守田 |
| | 20 | 13:30~16:30 | コアラだっこG
こどもプールで水遊び | 和室、中庭 | 6組/13人 | 山本・村上・守田・
多木 |
| | | 16:30~18:30 | つうしん配布準備 | 公民館ロビー | | 守田 |
| | 3 | 14:00~18:00 | 播磨南高校寿大学生と会議 | 第5研修室 | | 守田 |
| 9 | 5 | | 米山先生他原稿印刷、準備 | 公民館ロビー | N015(子どもの幸せ) | 村上 |
| | 6 | | 資料作り | 自宅 | | 守田 |
| | 9 | | 資料作り | 自宅 | | 守田 |
| | 10 | 9:00~12:30 | コアラだっこG
トイレトレーニング | 和室 | 親子7組/15人 | 山本・村上・守田・
多木 |
| | | 12:30~14:00 | 乳児健診つうしん配布 | 福祉会館 | | 守田 |
| | 19 | 14:00~18:00 | つうしん資料作り | 公民館ロビー | | 村上・守田 |
| | 27 | 13:00~16:00 | コアラだっこG子育てトーク | 和室 | 親子5組/12人 | 山本・多木・村上・
守田 |
| 10 | 7 | 14:00~18:00 | つうしん配布準備 | 公民館ロビー | | 守田 |
| | 8 | 9:00~13:00 | コアラだっこG
ミュージックサロン | 特別研修室 | 親子5組/11人
講師:渡辺 | 山本・村上・守田・
多木 |
| | | 12:30~14:00 | 乳児健診つうしん配布 | 福祉会館 | 夢つうしんN015 | 守田 |
| | | 14:00~17:30 | 日本文化の集いのポスター | 幼稚園、保育園 | | 村上・多木・守田 |
| | プログラム配布 | | コミセン、学童 | | | |
| | 9 | 14:00~17:30 | 子育てグループ他へメール便 | | | 西山・守田 |
| | | | 発送準備、資料プログラムのメール便(29件) | | | |
| | 10 | 14:00~18:00 | 日本文化の集いの配布用資料作り | 公民館ロビー | | 守田 |
| | 15 | 14:00~17:00 | 日本文化の集い 土屋先生講演準備 | 公民館ロビー | | 守田 |
| | 23 | | 日本文化の集いの打合せ | 公民館ロビー | | 村上・守田 |
| | 24 | 12:30~13:30 | 日本文化の集い準備
おからクッキー、風車づくり | 公民館ロビー | | 多木、村上・守田 |
| | 25 | 9:00~17:30 | 日本文化の集い(播磨南高校) | 大ホール、ロビー | 親子7組/18人
学童他30人 | 7(広) |
| | 28 | 9:00~12:30 | 子育てフォーラム
小児科医土屋先生講演 | 中央公民館
視聴覚室 | 親子6組/12人
他13人 | サポーター5
11 |
| 13:00~15:30 | | 塾生研修会、土屋先生を囲んで | 第2研修室 | 塾生 | 11 | |
| 11 | 1 | 9:00~14:00 | 大中遺跡祭り行列 | 大中遺跡公園 | 親子10組 | 6 |
| | 10 | 13:00~15:30 | 夢つうしん発行準備 | 公民館ロビー | | 安福、村上・守田 |
| | 11 | 13:00~18:00 | つうしん配布準備(子どもとメディア) | 公民館ロビー | | |
| | 12 | 9:00~12:30 | コアラだっこG子育てトーク | 特別研修室 | | 多木、村上・守田 |
| | | 12:30~14:30 | 乳児健診つうしん配布 | 福祉会館 | 25 | 守田 |
| | 22 | 8:30~17:00 | 自然体験研修 | 子どもの館(姫路) | 18 | 5 |
| | 27 | 8:30~18:00 | 両親教育インストラクター研修会 | うれしの台生涯学習
センター | 村上・守田 | |

| | | | | | | | |
|----|------------------------------------------------------|-------------|----------------------------|--------------------|----------------------------|----------|----|
| 12 | 4 | 9:00~13:00 | 夢つうしん幼稚園へ配布準備 | 公民館ロビー | 村上・守田 | 6 | |
| | 9 | 8:00~9:00 | 各幼稚園前で夢つうしん配布 | 各幼稚園前 | 安福・笠原・多木・福井・西山・村上・守田 | | |
| | 10 | 12:30~14:00 | コアラだっこGクリスマス準備 | 特別研修室 | 親子9組/20人 | | |
| | | 9:30~12:00 | 乳児健診つうしん配布 | 福祉会館 | 25 | 守田 | |
| | 12 | 12:30~14:00 | 3歳児健診つうしん配布 | 福祉会館 | 25 | 多木 | |
| | 20 | 8:30~13:30 | クリスマス会
ボクもわたしもサンタさん | 大ホール
和室 | 親子7組/15人 | 6 | |
| | | 13:30~16:00 | 講演会 丸山尚子氏
子どもの生きる力は手で育つ | 神戸市兵庫区
ニューポート大学 | 西山・村上・守田 | | |
| | 27 | 年賀に代えて | お母さんと呼ばれているあなたへ | 守田より | コアラG・関係者へ | 塾生へ | |
| 1 | 7 | 9:30~13:00 | 新年の集いコアラだっこG | 和室 | 親子7組/16人和室 | 多木、村上・守田 | |
| | | 13:00~16:00 | 夢つうしん発行準備 | 公民館ロビー | | 多木、村上・守田 | |
| | 12 | 14:00~17:00 | 夢つうしん発行準備 | 公民館ロビー | | 守田 | |
| | 13 | 14:00~17:00 | 「朝ごはんは大事だよ」配布準備 | 公民館ロビー | 夢つうしん17号 | 多木・守田 | |
| | 14 | 12:30~14:00 | 乳児健診つうしん配布 | 福祉会館 | 25 | 多木 | |
| | 16 | 12:30~15:00 | 3歳児健診つうしん配布 | 福祉会館 | 25 | 守田 | |
| | 24 | 10:00~13:30 | コアラだっこG子育てトーク | 和室 | 親子5組/12人 | 5 | |
| | | 13:30~18:00 | 公民館地下倉庫の整理 | 倉庫 | | 多木、村上・守田 | |
| 2 | 4 | 9:30~12:30 | コアラだっこG子育てトーク | 特別研修室 | 親子7組/15人 | 多木、村上・守田 | |
| | | 12:30~14:00 | 「朝ごはんは大事だよ」配布 | 福祉会館 | 乳児検診25 | 村上 | |
| | 13 | 12:30~14:00 | 「朝ごはんは大事だよ」配布 | 福祉会館 | 3歳児検診25 | 多木 | |
| | 14 | 9:00~13:00 | 子育てフォーラム勝木先生
「新聞紙で遊ぼう」 | 大ホール | 30人 | 勝木先生 | |
| | | 13:00~15:00 | 勝木先生を囲んで塾生の集い | 特別研修室 | 河村・福井・山本・瀧本・下垣・多木・村上・西山・守田 | | |
| 3 | 4 | 13:30~15:30 | 米山先生のお話 | 南部支援センター | 10 | | |
| | 6 | 13:30~15:00 | 公民館まつりバザー準備 | 視聴覚室 | 3組 | 村上 | |
| | 7 | 9:00~15:00 | 公民館まつりバザー参加 | 視聴覚室 | 3組 | 5 | |
| | 9 | 13:00~18:00 | 夢つうしん発行準備 | 公民館ロビー | 黒田先生(N o 18) | 多木、村上・守田 | |
| | 10 | 14:00~18:00 | 夢つうしん発行準備 | 公民館ロビー | お父さんへの育児アドバイス | 守田 | |
| | 11 | 9:30~12:30 | コアラだっこG子育てトーク | 特別研修室 | | 多木、村上・守田 | |
| | | 12:30~14:00 | 乳児健診つうしん配布 | 福祉会館 | 乳児検診25 | 守田 | |
| | 13 | 12:30~14:00 | 3歳児健診つうしん配布 | 福祉会館 | 3歳児検診25 | 多木 | |
| | 22 | 9:30~12:00 | 成果発表会タウンミーティング | 視聴覚室 | 瀧本・西山・村上・守田・山本・下垣・多木 | | |
| | 25 | 9:30~13:00 | 音楽を楽しく 渡辺先生と | 特別研修室 | 親子8組/19人 | 渡辺先生、5 | |
| | 27 | 14:00~18:30 | つうしん抱かれる子どもはよい子に育つ | 公民館ロビー 1 研 | 再編、発行 | 多木、村上・守田 | |
| | *夢つうしん(N o 14~19)を入れるポケットハンガー作り
黒田医院、米山医院 福祉会館で活用 | | | | | | 笠原 |
| | *楽習の証 ボランティアおひさまグループ
コアラ抱っこグループ塾関係者 塾生へ | | | | | | 笠原 |

